

事業番号	14 05 06	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学力向上推進事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・室	教学指導課	
総合5か年計画	プロジェクト	3-2-7 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト			E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり 1 地球温暖化対策と環境・エネルギー政策の推進			実施期間	H3 ~	

## 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習意欲を向上させることにより、自ら学ぶ生徒を育てる。</li> <li>基礎学力を定着させ、学力の向上を図り、生徒一人ひとりの「生きる力」を育成する。</li> <li>生徒自身が自己の特性や関心に応じた進路目標を持ち、社会情勢を適切に判断し、進路を選択できる能力を身につける。</li> </ul>	
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の中には、学ぶ目的の喪失や学習意欲の欠如、家庭学習時間の減少などの課題を抱えている者がいる。</li> <li>義務教育段階の基礎学力が不十分な生徒が少なくなく、学力不足を補う「学び直し」に取り組んでいる。</li> </ul>	
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施：検討中	<b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 生徒の基礎学力の定着を図り、学力の向上を図るためには、県が継続して関与していく必要がある。

事業内容	① 成果目標(H26)							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力を定着させ、学力向上を図り、大学進学率38.0%を目指す。</li> </ul>							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H26事業実績		H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		理数系学力の伸長	直接	・学習合宿・信州サイエンスキャンプ、信州赤ひげ塾	2,069	2,053	2,060	
		進路情報活用	直接	・進路指導書籍の整備・進路指導関係会議 ・大学入試問題のデータベース、進路ネット情報の活用	8,867	8,075	8,874	
	進路対策講座	直接	・伸びる力養成講座(記述対策) ・進学対策集中講座 ・トリニティ・プロジェクト(基礎学力の向上、家庭学習習慣の確立、保護者への啓発等)	7,280	6,734	7,770		
	SSH指定校支援事業	直接	SSH指定校(飯山北・屋代・諏訪清陵)に事業を円滑に実施するための事務員を配置。	2,487	2,168	2,566		
	信州自然エネルギー・環境教育支援事業	直接	高等学校等の自然エネルギー・環境に関する教育活動を支援し、成果発表会を実施。	2,000	1,823	2,000		
	合計			22,703	20,853	23,270		

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	21,415	21,726	22,703	23,270
	補正予算				
	合計(A)	21,415	21,726	22,703	23,270
	国庫支出金				
	県債				
	その他(JST受託事業費)		2,393	4,549	4,858
	一般財源	21,415	19,333	18,154	18,412
	決算額(B)	20,282	20,301	20,853	
概算人員数	2.00	2.00	2.00	2.00	
概算人件費	16,516	16,516	16,516	16,516	
概算事業費(B(A)+C)	36,798	36,817	37,369	39,786	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
大学進学率	36.9%	38.0%	37.3%	未達成	38.0%
県の学力実態調査(高2)における基礎学力定着度(正答率)	国65.5% 数61.6% 英60.9%	国64.3% 数61.5% 英61.0%	国65.9% 数61.7% 英61.0%	国達成 数達成 英達成	国65.7% 数61.8% 英61.1%

目標に対する成果の状況	・県内公立高校の四年制大学進学率は景気動向の不確実性や就職希望者の増加もあり目標達成できなかったが、進学対策講座を充実したり、基礎学力の確実な定着に積極的に取り組んだりすることにより、H25年度36.9%からH26年度37.3%へ0.4ポイント増加した。
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・1、2年での確実な基礎学力定着のための指導方法の研究、進路指導を充実するための各種情報整備、理数系への興味関心を高める合宿等を通じ、引き続き、生徒の希望進路が実現できるよう取り組んでいく。 ・成績上位層の難関大学への進学を実現するため、教員の指導力向上を目指す必要がある。そのための先進校視察や外部講師招聘等を行っていく。